

意見書案第2号

保育士配置基準を見直し保育士の増員を求める意見書

上記事項に関し、別紙のとおり意見書を提出することについて議会の議決を
求める。

令和5年3月23日提出

提出者 中間市議会議員 柴田芳信

賛成者 中間市議会議員 田口澄雄

保育士配置基準を見直し保育士の増員を求める意見書

福岡県中間市において、2021年7月29日、送迎バス事故により、園児の尊い命が奪われてしまいました。その教訓が活かされないまま、静岡県牧之原市においても、2022年9月に同種事故が発生しました。

コロナ禍で保育所の重要性は広く社会に認識されるようになりましたが、感染対策を徹底しながら、子どもの発達を保障し、子育て家庭を支えるには、現在の配置基準は不十分であり、子どもの命と安全を守るためにも保育士の増員が急務となっています。

小学校では、全学年での少人数学級化が順次実施されており、2021年度『学校基本調査』によれば、公立小学校の学級当たりの平均児童数はすでに22.7人となっています。一方で、小学校より幼い乳幼児が長時間生活する保育所等の4・5歳児の配置基準（子ども30人に保育士1人）が、基準制定以来70年以上一度も見直されていないことは、ゆゆしき事態と言わざるを得ません。

国は2023年4月に「こども家庭庁」を創設して、これまで以上に子どもの関連施策の充実・推進を目指し予算も倍増するとしています。それならば、今こそ保育関連予算を大幅に増やし、保育士配置基準の引き上げによる保育士の増員、処遇の改善を国の責任で進めるべきではないでしょうか。

よって、国においては、必要な財源を確保し、下記の事項について実現されるよう強く要望します。

記

1. 子どものために保育士配置基準の引き上げを進め、保育士の増員を図ること。
 2. 公定価格を引き上げ、保育士等の処遇改善を図ること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和5年3月23日

中 間 市 議 会

内 閣 総 理 大 臣	岸田 文雄 様
総 務 大 臣	松本 剛明 様
文 部 科 学 大 臣	永岡 桂子 様
内閣府特命担当大臣（少子化対策）	小倉 将信 様
衆 議 院 議 長	細田 博之 様
参 議 院 議 長	尾辻 秀久 様